

愛知県高校野球選抜チーム オーストラリア遠征日記

12月25日 出発式

セントレアで小島会長の激励を受け
気持ちも昂ぶった選手たち。いよいよ
オーストラリアに向けて出発しま
す。



12月26日 現地着

日本時間の4時15分にブリスベン空港に到着。機内泊になれずなかなか寝付けなかった
選手も多かったが、無事オーストラリアの地を踏む。

まずは身体を慣らすために、ブリスベン市内を一望できる Mt クーサヤ、コアアラやカンガ
ルーが見られるローンパインへ。巨大ハンバーガーを食べた後は、練習会場へ移動。明日
からの試合に向け選手たちの目の色も変わってきた。



Mt クーサヤでの集合写真

愛知県高校野球選抜チーム オーストラリア遠征日記



愛知県高校野球選抜チーム オーストラリア遠征日記

12月27日 天気：快晴 気温：29度 球場：Holloway Field

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計
愛知県選抜	1	7	0	4	1	0	2	4	1							20
BANDITS U18	0	0	1	0	0	0	1	0	3							5

先攻	愛知県選抜	後攻	BANDITS U18
投手	山田 大竹 泉 出口	投手	Stevens Wynvard Ward Kimoto Macdonald
捕手	牧山 家田	捕手	Holly
本塁打	上田	本塁打	
三塁打		三塁打	Preston Bidois
二塁打	立花 石川2 澤野	二塁打	

オーストラリア遠征最初の試合は、ブリスベンのプロチーム「ブリスベン バンデッツ」のアンダー18チーム。昨日の練習そのままに好調な打撃を見せ、初回到3番石川（東邦）の内野ゴロで1点を先制すると、2回には、6番立花（豊川）石川の二塁打を含む6本の安打を集中させて打者一巡の猛攻で7点を加えた。8回には4番上田（愛産大三河）が今遠征第1号となる本塁打を左中間スタンドに放った。最後まで攻撃の手を緩めず、終わってみれば先発全員安打、19安打20点の破壊力を見せた。守りのミスから5点を取られたものの、山田（西尾東）大竹（豊橋中央）泉（中部大春日丘）出口（科技高豊田）は、合わせて12個の三振を奪う力投を見せた。



愛知県高校野球選抜チーム オーストラリア遠征日記

12月28日 天気：快晴 気温：28度 球場：Holloway Field

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計
愛知県選抜	2	5	4	1	3	1	0	0	3							19
BANDITS U18	0	0	1	0	0	0	0	5	3							9

先攻	愛知県選抜							後攻	BANDITS U18						
投手	石黒 大竹 出口							投手	Powell Butler #20 (氏名不明)						
捕手	牧山 小林							捕手	Preston						
本塁打	石川① (1回) 今泉① (2回) ② (5回)							本塁打	Macdonald (8回)						
三塁打								三塁打							
二塁打	牧山							二塁打	Natalf						

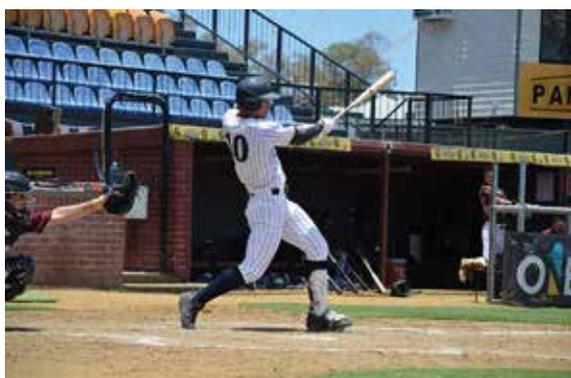
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計
BANDITS U18	3	1	0	0	0	0	0	0	0							4
愛知県選抜	0	0	2	2	0	5	0	2	X							11

先攻	BANDITS U18							後攻	愛知県選抜						
投手	Healy Marriott #48 (氏名不明)							投手	上田 泉 山田 安藤						
捕手	Holly							捕手	家田 牧山						
本塁打								本塁打	今泉③ (8回)						
三塁打								三塁打							
二塁打	Preston							二塁打	今泉 安藤 西村 堀内						

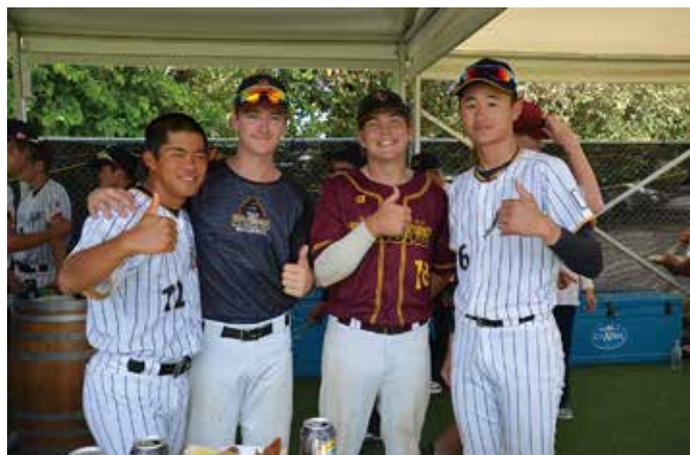
昨日と同じくブリスベンのプロチーム「ブリスベン バンデッツ」のアンダー18チームとの対戦。第1試合は、両チーム合わせて4本の本塁打を含む30安打・26四死球の乱打戦となったが、序盤の攻撃を生かして選抜チームが逃げ切った。3番石川（東邦）、5番今泉（中京大中京）の3本の本塁打をはじめ、チーム安打17と昨日同様好調な打撃を見せた。石黒（星城）大竹（豊橋中央）出口（科技高豊田）ともにオーストラリア審判のストライクゾーンに苦しみ9四死球と反省点が浮かび上がる試合となった。

第2試合は、この遠征初めて4点を追う立場となったが、3回に1番西村（栄徳）の犠飛などで2点差とすると、4回には再び西村の2点タイムリー二塁打で同点とした。6回には2番河田（享栄）の2点タイムリーを含め5点をあげ逆転に成功すると、8回には4番今泉のこの日3本目となる本塁打が飛び出し試合を決めた。投手陣も3回以降無得点に抑え対オーストラリア戦3連勝に貢献した。

この日の昼食は、今回の遠征の目的の一つである国際交流として、相手チームと一緒に楽しくボリュームタップリのバーベキューを味わった。



愛知県高校野球選抜チーム オーストラリア遠征日記



愛知県高校野球選抜チーム オーストラリア遠征日記

12月29日 天気：快晴 気温：33度 球場：Bannistar Park

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計
愛知県選抜	2	4	3	1	3	4	4									21
USA U18	0	0	0	3	0	0	1			7回コールド						4

先攻	愛知県選抜							後攻	USA U18						
投手	山田 泉 石黒							投手	Schobe Charpia Grounds Pearic						
捕手	牧山 家田							捕手	Munoz						
本塁打	石川②(2回) 上田②(5回) 今泉④(7回)							本塁打							
三塁打	澤野							三塁打							
二塁打	今泉 上田2 堀内 西村 河田2							二塁打							

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計
USA U18	0	0	0	0	0	0	0									0
愛知県選抜	6	1	3	0	1	4	X			7回コールド						15

先攻	USA U18							後攻	愛知県選抜						
投手	Pearce Richters #9 #2							投手	石川 大竹 出口 安藤						
捕手	Gajda							捕手	牧山 家田 小林						
本塁打								本塁打	今泉⑤(2回) 上田③(5回)						
三塁打								三塁打							
二塁打								二塁打	石川2 西村2 澤野 河田						

遠征最後の試合となるのは、アメリカのU18チーム「GWS America」との対戦。

第1試合、打撃好調のチームは初回到5番今泉（中京大中京）のタイムリー二塁打で先制。2回には9番藤掛（愛産大工業）のタイムリー、3番石川（東邦）の本塁打で4点を追加。3回には1番堀内（愛工大名電）4番上田（愛産大三河）のタイムリーで3点を追加し9-0とリード。先発の山田（西尾東）は3回まで1安打の好投を見せたが、4回突如制球を失い5連続四球で降板。変わった泉（中部大春日丘）も1点を失ったが好リリーフを見せた。その後も攻撃の手を緩めず、5回には上田、7回には今泉の本塁打などで得点し、終わってみれば先発全員安打、20安打21点、7回コールドゲームで圧勝した。

第2試合も初回から打者一巡の猛攻を見せ6点を先制。2回には今泉に今遠征5本目となる本塁打が、5回には上田に3本目となる本塁打が飛び出し差を広げた。さらには遠征全試合にフル出場の河田（享栄）西村（栄徳）の二塁打などで着々と得点を重ねた。投げては、先発石川・大竹（豊橋中央）出口（科技高豊田）安藤（小牧南）が1安打ピッチング。遠征5連勝を完封で飾った。





愛知県高校野球選抜チーム オーストラリア遠征日記

12月30日 天気：快晴 気温：33度

いよいよ帰国の日となった。宿泊先のホテルの前にある『SKY POINT』で、天空からゴールドコーストの風景を楽しんだ後は、水陸両用車『Aqua Duck Buss』で海からの眺望を楽しんだ。その後、現地最後のランチを食べたところで緊急事態発生！！予定していた飛行機が機材トラブルのため欠航。急遽もう1泊ゴールドコーストで宿泊することに。ホテルが決まり選手たちにとっては待望の自由行動。多くの選手が家族やチームメイトに山のようなお土産を買いに出かけ、突然できた貴重な時間を有効に利用した。



愛知県高校野球選抜チーム オーストラリア遠征日記

12月31日 天気：曇り 気温：26度

ホテルの前に5時集合・出発予定が、全員早く集まり4時30分にはゴールドコースト空港に出発。約1時間のフライトで9時30分（時差が1時間あります）にシドニー国際空港に到着。到着後、各自食事や買い物を楽しんだ後14時45分羽田に向けて出発。約11時間の機内では3度あった機内食も食べずひたすら寝る。何本も映画を見る。など様々に時間を過ごした。日本時間22時20分羽田空港に着陸。23時45分貸切バスに乗車し陸路セントレアに向かう。羽田を出てすぐに車内でニューイヤーカウントダウンで新年を祝い、PAで年越しそばを啜った。高速は特に渋滞もなく5時30分にセントレア着。丸々25時間の大変な移動となった。解散式で団長・監督から言葉を受ける選手の顔は寝不足にかかわらず晴れ晴れとしていた。



突然の日程の変更など関係者の皆様には大変ご心配をおかけしましたが、5試合全勝という結果以上に選手が怪我や病気なく無事に帰国できたことをスタッフ一同喜んでおります。

保護者の皆様・連日選手のケアをしていただいた愛知医大の三浦先生・素早い対応をしていただいたJTB高橋さんをはじめ今回の遠征に携っていただいた全ての皆様に感謝の気持ちを込めて遠征日記最終回とさせていただきます。

